

## 令和2年度 学校関係者評価

本校が自らの教育活動その他の学校運営について組織的・継続的に改善すること、信頼される開かれた学校づくりを進めること、教育の質を保証し、その向上を図ることを目的に学校関係者の皆様から学校への意見や評価をいただきます。

### 学校関係者評価委員会委員（敬称略 あいうえお順）

宇賀神 美代子 医) 真養会 田沢医院 法人看護局長  
片岡 紀子 かぬき地域包括支援センター センター長  
勝山 智男 国立沼津高等専門学校 非常勤講師  
渡邊 淳子 沼津市立病院 看護部長

### 実施日 実施場所

令和3年6月3日（木） 沼津市立看護専門学校会議室

### 学校の自己評価に関する評価結果

カテゴリー	自己評価	委員評価
I 学校経営	3.63	外部の学校関係者評価により、これまでより広い点検評価が可能となった。
II 教育課程・教育活動	3.56	コロナ禍の実習制約にもシミュレーションの活用など柔軟に対応、臨機応変を評価。
III 入学・卒業対策	3.79	国家試験合格率・就職率100%であり、卒業生が社会から高く評価されている。
IV 学生への支援	3.31	R2年度の退学者・休学者が出なかったことにきめ細やかな指導の結果と評価。
V 管理運営・財政	3.58	学生の満足度調査を年2回実施し、学生の意見を反映する仕組みが整っている。
VI 施設・設備	3.57	図書室・演習室・ロビーなど開放的で使いやすい。清掃・整理が行き届いている。
VII 教員の育成	3.28	Web開催の研修会に参加等、コロナ禍でも研修や情報取得に努力している。
VIII 広報・地域活動	3.08	コロナ禍で地域活動やオープンキャンパスへの制約があったことは否めない。

## 改善策等の提言

### (1) 広報・地域活動について

#### 広報活動

- ・学校規模が小さく、十分な人員配置がとれるわけではなく、広報活動は後手に回ってしまいがち。アウトソーシングの割合を増やしてもよいのではないか。
- ・「見てもらえる」という事を考えることが必要。卒業性や家族からアンケート等を取って今後の対応に反映させることも必要だと考える。
- ・SNS を利用した広報を行っている学校もある。制約はあるが積極的な広報活動を進める。

#### 地域活動

- ・地域貢献活動は教育の一環であると考えられる。
- ・学生の地域包括支援センターでの休日行事の手伝いなどは可能なのか。
- ・コロナ禍の終息を見据えながら、動画配信などあらたな試みを学生とともに発展させていくことを期待したい。

### (2) その他

- ・運営面、施設、教務学習関係などは、自己評価点も高く日ごろの学校内の活動の様子を見ても、改善を要する深刻な点は見当たらない。特に規模が小さいことを生かして、学生の顔を見ながら細やかな指導を行っている点やコロナ禍に起因する実習面での困難に対して、柔軟な対応ができたことなどは高く評価したい。